

今月のチャンピオン 硬筆

特待生作品紹介

江戸時代、松尾芭蕉が書いた「おくの細道」は日本の代表的紀行文である。
夏草や兵どもが夢の跡
閑かさや岩にしみ入る蟬の声
五月雨をあつめて早稲上川
荒海や佐渡によこたふ天の川

三年 木村 心鈴

大分市・附属中
3年 木村 心鈴

※特待生の作品を順次掲載します。

小学2年の部

二年 やなぎ田 亜津
くすのき 五月
長さ五のくすのき
ジャボのメー
大空にまっ
とめ、はね、はらいのふでづかいに気を
つけて正しく書けました。名前の文字もか
んぺきです。

大分市・大道小
2年 柳田 亜津

小学1年の部

一ねん えのもと
「とめ」「はね」「はらい」さらに字形に
も気をつけて書かれた、すばらしい作品で
す。

中津市・小楠小
1年 榎本 なこ

小学5年の部

五年 甲斐 莉子
毎年八月には、四百年以上の歴史
をほこる「本場鶴崎おとり大会」が
開かれます。
はなやかな衣装を身にまとう、大
分を代表する盆おとりです。

大分市・津留小
5年 甲斐 莉子

小学4年の部

四年 藤崎 たお
漢字の字形が整って、ていねいに書かれ
た美しい作品です。

別府市・境川小
4年 藤崎 たお

小学3年の部

三年 首藤 芽衣
文字の中心がわくの中心になるように正
しく書かれています。名前も中心がそろっ
ています。

大分市・豊府小
3年 首藤 芽衣

中学2・3年の部

二年 前崎 茜香
江戸時代、安岐の三浦安貞(梅園)
日出の帆足万里、日田の広瀬淡窓を
豊後三賢という。
彼らの周辺には、全国から多くの
子弟が集まった。

大分市・判田中
2年 前崎 茜香

中学1年の部

一年 荒金 千尋
小説家野上弥生子は白杵の出身です。
有名な「海神丸」は漂流する船中での
極限状態における人間のあり方を描い
ています。記念館には、少女の頃の
直筆原稿などが展示されています。

大分市・南大分中
1年 荒金 千尋

小学6年の部

六年 日野 清華
漢字、仮名、カタカナの大きさが調和し、
力みがなく、さわやかさを感じる作品です。

大分市・南大分小
6年 日野 清華